

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.12 (1962. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19621201--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19621201--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

# 三田學會雜誌

1962年 12月号

## 論 説

- 転機に立つ失業対策.....黒川俊雄 1
- アダム・スミスとエドモンド・バーク(二).....白井厚 21  
—その社会観と経済思想をめぐって—

## 研究ノート

- ケインズ経済学における階級.....村田光義 42  
—その社会思想的考察—

## 資 料

- 『神と人間との統一』.....遊部久蔵 63  
—ジョン・フランシス・プレイ主著研究(1)—

## 書 評

- 天野元之助著『中国農業史研究』.....平野絢子 79

## 新刊紹介

昭和37年度下半期総目次

55 卷 **12** 号

昭和37年12月1日発行  
第三種郵便物認可  
行(毎月1日発行)

昭和37年11月1日発行  
第三種郵便物認可  
行(毎月1日発行)

三田学会雑誌

昭和三十七年十一月号

定価 金二二〇円 (送料別)

# MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 55, No. 11

November, 1962

## CONTENTS

	Page
The Land Problem in the Ancienne France..... <i>K. Watanabe</i>	1
Economic Integration: Theory and Its Present Aspects —On the Establishment of the Theory of Economic Integration— ..... <i>H. Fukami</i>	21
The Changes in Construction Workers' Real Wages in Tokyo, 1830—1894..... <i>Y. Sano</i>	49
<b>Book Reviews</b>	
World Economic Survey 1961, United Nations, Department of Economic & Social Affairs..... <i>Y. Kawashima</i>	77

Published for

**KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI**

(The Keio Economic Society)

Editorial communications to be sent to  
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai

Keio University,

Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 120 yen

新刊紹介

森 喜一著『続日本労働者階級状態史』	飯 田 鼎	84
国際経済学会編『世界経済と国際通貨』 <small>(国際経済第十三号)</small>	深 海 博 明	85
宮本義男著『金融資本への道』	飯 田 裕 康	87
吉野俊彦編『経済成長と物価問題』	丸 尾 直 美	88

転機に立つ失業対策

黒川俊雄

昭和三七年五月一七日労働省は失業対策事業を根本的に再検討するために、省内に失業対策問題調査研究会を設け、秋の予算編成期までに結論を出して三八年度から実施するという方針を決めた。同時に、労働省は、失業対策事業を根本的にどう「改革」するかという「基本構想」を発表したが、他方、自由民主党も、正式ではないが、政調会の労働部会において「基本要綱」をつくり、緊急失業対策法を廃止して新しい法律を制定するという方針を明らかにした。すでに早くから失業対策事業の「改革」を要求して政府・自民党に圧力をかけてきた全国市長会は、「失業対策事業の改革に関する意見(案)」を発表し、同じく全国市議会議長会も三七年度「運動方針」の中で、「現行緊急失業対策法の根本的改正」をうたい、それに関する「意見」を表明した。このような事情のもとで、去る九月二十九日、ようやく失業対策問題調査研究会は報告書を労働大臣に提出するにいたった。これら一連の失業対策事業「改革」の動きは、戦後の失業対策がいまや転機に立っていることを示している。私はかつて本誌に「戦後の失業対策と都市月雇労働者」と題する一文を草して、戦前の失業対策の特徴との関連

転機に立つ失業対策